

Autodesk® Softimage®

インストールガイド

Windows® 搭載システム対応

Autodesk
Softimage

2011



Autodesk

著作権および免責事項

(c) 2010 Autodesk, Inc. All rights reserved. Except as otherwise permitted by Autodesk, Inc., this publication, or parts thereof, may not be reproduced in any form, by any method, for any purpose.

Certain materials included in this publication are reprinted with the permission of the copyright holder.

The following are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and other countries: 3DEC (design/logo), 3December, 3December.com, 3ds Max, Algor, Alias, Alias (swirl design/logo), AliasStudio, AliasWavefront (design/logo), ATC, AUGI, AutoCAD, AutoCAD Learning Assistance, AutoCAD LT, AutoCAD Simulator, AutoCAD SQL Extension, AutoCAD SQL Interface, Autodesk, Autodesk Envision, Autodesk Intent, Autodesk Inventor, Autodesk Map, Autodesk MapGuide, Autodesk Streamline, AutoLISP, AutoSnap, AutoSketch, AutoTrack, Backburner, Backdraft, Built with ObjectARX (logo), Burn, Buzzsaw, CaiCE, Civil 3D, Cleaner, Cleaner Central, ClearScale, Colour Warper, Combustion, Communication Specification, Constructware, Content Explorer, Dancing Baby (image), DesignCenter, Design Doctor, Designer's Toolkit, DesignKids, DesignProf, DesignServer, DesignStudio, Design Web Format, Discreet, DWF, DWG, DWG (logo), DWG Extreme, DWG TrueConvert, DWG TrueView, DXF, Ecotect, Exposure, Extending the Design Team, Face Robot, FBX, Fempro, Fire, Flame, Flint, FMDesktop, Freewheel, GDX Driver, Green Building Studio, Heads-up Design, Heidi, HumanIK, IDEA Server, i-drop, ImageModeler, iMOUT, Incinerator, Inferno, Inventor, Inventor LT, Kaydara, Kaydara (design/logo), Kynapse, Kynogon, LandXplorer, Lustre, MatchMover, Maya, Mechanical Desktop, Moldflow, Moonbox, MotionBuilder, Movimento, MPA, MPA (design/logo), Moldflow Plastics Advisers, MPI, Moldflow Plastics Insight, MPX, MPX (design/logo), Moldflow Plastics Xpert, Mudbox, Multi-Master Editing, Navisworks, ObjectARX, ObjectDBX, Open Reality, Opticore, Opticore Opus, Pipeplus, PolarSnap, PortfolioWall, Powered with Autodesk Technology, Productstream, ProjectPoint, ProMaterials, RasterDWG, RealDWG, Real-time Roto, Recognize, Render Queue, Retimer, Reveal, Revit, Showcase, ShowMotion, SketchBook, Smoke, Softimage, Softimage|XSI (design/logo), Sparks, SteeringWheels, Stitcher, Stone, StudioTools, ToolClip, Topobase, Toxik, TrustedDWG, ViewCube, Visual, Visual LISP, Volo, Vtour, Wire, Wiretap, WiretapCentral, XSI, and XSI (design/logo).

ACE(TM), TAO(TM), CIAO(TM), and CoSMIC(TM) are copyrighted by Douglas C. Schmidt and his research group at Washington University, University of California, Irvine, and Vanderbilt University, Copyright (c) 1993-2009, all rights reserved.

Python is a registered trademark of Python Software Foundation.

All other brand names, product names or trademarks belong to their respective holders.

Disclaimer

THIS PUBLICATION AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN IS MADE AVAILABLE BY AUTODESK, INC. "AS IS." AUTODESK, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE REGARDING THESE MATERIALS.

Documentation Team

Judy Bayne, Grahame Fuller, Amy Green, Edna Kruger, and Naomi Yamamoto.

目次

Softimage のインストールとライセンス取得 (Windows 対応)	4
Softimage のスタンドアロンライセンスのインストール	5
ネットワークライセンスバージョンの Softimage のインストール	8
Autodesk Network License Manager のインストール	12
サイト展開	17
Softimage のアンインストール	20

Softimage のインストールとライセンス取得 (Windows 対応)

Autodesk(R) Softimage(R) は、Autodesk のスタンドアロンまたはネットワークライセンスでインストールし、実行できます。Softimage では、Windows 32 ビット版および 64 ビット版対応オペレーティングシステムをサポートします。

次の操作をすばやく実行できます。

- 5 ページの「Softimage のスタンドアロンライセンスのインストール」
- 8 ページの「ネットワークライセンスバージョンの Softimage のインストール」
- 12 ページの「Autodesk Network License Manager のインストール」
- 17 ページの「サイト展開」
- 20 ページの「Softimage のアンインストール」

Softimage のスタンドアロンライセンスのインストール

スタンドアロンライセンスを使用して Autodesk Softimage のインストール、登録、およびアクティベーションを実行するには、次の基本的な操作手順を実行します。Softimage は、Windows 搭載ワークステーションごとに 1 つのシリアル番号で使用できます。ライセンスのアクティベーションを実行すると、そのライセンスはお使いのコンピュータで固定のものとなり、他のコンピュータでは利用できなくなります。

ライセンスをオフィスのデスクトップからラップトップへ転送するなど、スタンドアロンライセンスの各機能の詳細については、『Autodesk ライセンスガイド』を参照してください。

1. Softimage セットアッププログラムを実行します。
2. **[製品をインストール]** をクリックします。
3. エンドユーザ使用許諾契約 (EULA) に同意します。
 - お住まいの国または地域を選択します。
 - [同意する] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. ユーザ情報および製品情報を入力します。
 - **[この製品の登録情報を入力する]** を選択して、Softimage を有効にするためのシリアル番号を入力します。
 - または
 - **[この製品を 30 日間の体験版として使用する]** を選択して、Softimage をトライアルモードで実行します。
5. **[Autodesk Softimage 2011]** を選択します。
6. **設定** ボタンをクリックします。
7. **[スタンドアロンライセンス]** を選択します。[次へ] をクリックします。

8. お使いのコンピュータでサテライト分散レンダリングサービスを設定し、別のコンピュータまたはプロセッサとともにネットワーク上でタイトルベースのレンダリングで実行する場合は、**[mental ray でレンダリングを実行するネットワークのサテライトサービスをインストールする]** をインストールします。これで、ポートの選択オプションが有効になります。
9. mental ray サービスで使用する TCP ポートを選択します。このポートは、分散レンダリングのセッション時に、mental ray が他のコンピュータと通信する際に使用されず。デフォルトでは、ポートが「7020」に設定されます。
10. 必要に応じて、**[次の利用可能なポートへ]** をクリックして別の空いているポートを指定します。
11. **[次へ]** をクリックして、サテライト分散レンダリングのサービスをインストールし、起動します。

分散レンダリング環境を設定する方法については、Softimage で **[ヘルプ]** > **[ユーザガイド]** > **[レンダリング]** > **[分散レンダリング]** を選択します。

12. インストールパスを確認します。

デフォルトでは、Softimage は C:\Program Files\Autodesk にインストールされます。通常はこのフォルダにインストールすることをお勧めしますが、別の場所にインストールする場合は、**[参照]** をクリックします。

なお、日本語のオペレーティングシステムをお使いの場合は、インストールパス名に日本語および全角文字を使用しないようにしてください。日本語および全角文字はインストールに失敗する原因となります。

インストールの終了後、%SI_HOME% が、Softimage のインストール先のディレクトリを指定する環境変数となります。

13. **設定の完了**を選択します。
14. 選択した内容を確認し、**[インストール]** をクリックします。
15. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。

Autodesk 製品ライセンスのアクティベーション

インストール後、初めて Softimage を起動すると、Autodesk 製品ライセンスのアクティベーションウィザードが表示されます。

16. **[アクティベーション]** をクリックします。

[試行] を選択すると、Softimage がトライアルモードで起動します。Autodesk Softimage のトライアルモードは、最初に起動した日から 30 日間有効となります。なお、ライセンスの登録は、トライアル期間が切れる前でも切れた後でもいつでも実行できます。

17. アクティベーションが正しく実行されたら、**[完了]** をクリックします。

18. これで、Autodesk Softimage を起動することができます。

ネットワークライセンスバージョンの Softimage のインストール

Windows 搭載ワークステーションでネットワークライセンスバージョンの Autodesk Softimage をインストールし、実行するには、次の基本的な操作手順を実行します。セットアッププログラムにより、Softimage ソフトウェアファイルがインストールされ、有効にするライセンスに対応する Autodesk ライセンスサーバの名前を入力するようにメッセージが表示されます。ライセンスサーバは、12 ページの「Autodesk Network License Manager のインストール」に説明されているようにすでに設定されていると見なされます。

1. Softimage セットアッププログラムを実行します。
2. **[製品をインストール]** をクリックします。
3. エンドユーザ使用許諾契約 (EULA) に同意します。
 - お住まいの国または地域を選択します。
 - [同意する] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. ユーザ情報および製品情報を入力します。
 - **[この製品の登録情報を入力する]** を選択して、Softimage を有効にするためのシリアル番号を入力します。
または
 - **[この製品を 30 日間の体験版として使用する]** を選択して、Softimage をトライアルモードで実行します。
5. **[Autodesk Softimage 2011]** を選択します。
6. **設定** ボタンをクリックします。
7. **[ネットワークライセンス]** を選択します。

8. ライセンスサーバモデルを、**シングルサーバ**、**分散型サーバ**、または**冗長型サーバ**から選択します。
- ・ **シングルサーバ** : ネットワークライセンスマネージャが単一のサーバにインストールされ、ライセンス管理とアクティビティがこのサーバに限定されます。シングルライセンスファイルは、サーバ上で利用できるライセンスの総数を示します。
 - ・ **分散型サーバ** : ライセンスは複数のサーバ上に分散されます。各サーバに固有のライセンスファイルが必要となります。分散型サーバを作成するには、分散サーバプールの一部として各サーバでネットワークライセンスマネージャを実行する必要があります。
 - ・ **冗長型サーバ** : 1つのライセンスファイルを認証するために3つのサーバが使用されます。1つのサーバはマスタとして機能し、残りの2つはマスタサーバで不具合が発生した場合のバックアップとして機能します。この設定では、少なくとも2つのサーバが機能している限り、ライセンスの監視と発行が続けられます。これら3つのサーバ上のライセンスファイルはすべて同じです。各サーバには、ネットワークライセンスマネージャをインストールする必要があります。冗長型ライセンスサーバモデルでは、すべてのサーバが同じサブネットに存在していなければなりません。また、安定したネットワーク通信が必要になります。
9. すべての場合において、サーバのホスト名（コンピュータ名）をサーバ名テキストボックスに入力する必要があります。

サーバのホスト名は、`lmutil` コマンドラインツールを使用して取得することができます。 `c:\Program Files\Autodesk Network License Manager` ディレクトリへ移動し、コマンドプロンプトで次のように入力します。

```
lmutil lmhostid -hostname
```



ライセンスサーバ名が Softimage 環境スクリプト（起動時などのサーバからライセンスを取得するかを Softimage に指示する）に追加されます。この環境スクリプトは **setenv.bat** と呼ばれ、Softimage インストールパスの Application¥bin フォルダにあります。環境変数 `_ADSK_LicServers` は、Softimage のライセンスを取得するサーバを指定します。また、`SILicMethod` が Network に設定されていることを確認します。このファイルは、いつでも編集したり、サーバ名を追加したりすることができます。

重要な注意：ライセンスサーバと Softimage を同じデュアルスタック IPv4 および IPv6 コンピュータで実行する場合（Windows Vista および Windows 7 でのデフォルト設定）、クライアントがライセンスサーバに正しくアクセスできるようにするためには、hostname または localhost エイリアスをサーバ名テキストボックスで**使用しないでください**。代わりに、サーバ名を 127.0.0.1（「ループバック」の IP アドレス）に設定する必要があります。

接続エラーを防止するために、セットアッププログラムは自動的に `;%127.0.0.1` を環境変数 `ADSKFLEX_LICENSE_FILE` に追加します。この解決策はピュア IPv6 コンピュータでも機能します。

10. **[次へ]** をクリックします。
11. お使いのコンピュータでサテライト分散レンダリングサービスを設定し、別のコンピュータまたはプロセッサとともにネットワーク上でタイトルベースのレンダリングで実行する場合は、**[mental ray でレンダリングを実行するネットワークのサテライトサービスをインストールする]** をインストールします。これで、ポートの選択オプションが有効になります。
12. mental ray サービスで使用する TCP ポートを選択します。このポートは、分散レンダリングのセッション時に、mental ray が他のコンピュータと通信する際に使用されません。デフォルトでは、ポートが「7020」に設定されます。
13. 必要に応じて、**[次の利用可能なポートへ]** をクリックして別の空いているポートを指定します。

14. **[次へ]** をクリックすると、サテライト分散レンダリングのサービスがインストールされ、起動します。

分散レンダリング環境を設定する方法については、Softimage で **[ヘルプ]** > **[ユーザガイド]** > **[レンダリング]** > **[分散レンダリング]** を選択します。

15. インストール先のパスを指定します。

デフォルトでは、Softimage は C:\Program Files\Autodesk にインストールされます。通常はこのフォルダにインストールすることをお勧めしますが、別の場所にインストールする場合は、**[参照]** をクリックします。

なお、日本語のオペレーティングシステムをお使いの場合は、インストールパス名に日本語および全角文字を使用しないようにしてください。日本語および全角文字はインストールに失敗する原因となります。

インストールの終了後、%SI_HOME% が、Softimage のインストール先のディレクトリを指定する環境変数となります。

16. **設定の完了** を選択します。
17. 選択した内容を確認し、**[インストール]** をクリックします。
18. これで、Autodesk Softimage を起動することができます。

Autodesk Network License Manager のインストール

Autodesk Network License Manager をインストール、設定するには、次の基本的な操作手順を実行します。ライセンスサーバを設定した後、Windows 搭載ワークステーションにネットワークライセンスバージョンの Autodesk Softimage をインストールし、実行します。

ネットワークライセンスの操作手順および機能の詳細については、『Autodesk ネットワークライセンスガイド』を参照してください。

Autodesk Network License Manager のインストール

Autodesk Network License Manager (LMTools Utility) では、ライセンスサーバを設定および管理できます。

1. ライセンスサーバとなるコンピュータで、Softimage セットアッププログラムを実行します。
2. **[Install Tools and Utilities (ツールとユーティリティのインストール)]** をクリックします。
3. Autodesk Network License Manager を選択します。



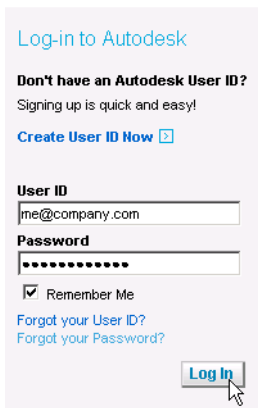
ピュア IPv6 ネットワーク上でライセンスサーバを実行する場合は、IPv6 用の Autodesk Network License Manager をインストールする必要があります。このパッケージは Softimage DVD 内の Support\NLM\en-US フォルダにあります。または、<http://www.autodesk.com/nlm2011-ipv6-windows> からダウンロードすることもできます。

4. エンドユーザ使用許諾契約 (EULA) に同意します。[次へ] をクリックします。
5. 設定する製品として **[Autodesk Network License Manager]** を選択します。
6. インストールする場所を変更する場合は、**[Configure (設定)]** を選択し、別のフォルダを指定します。必要な操作を行った後、**設定の完了**を選択します。
7. **[Current settings (現在の設定)]** ボックスの情報が正しい場合は、**[Install (インストール)]** をクリックします。

8. インストールが正常に終了したら、[完了] をクリックします。

registeronce.autodesk.com での登録とアクティベーション

1. <https://registeronce.autodesk.com> にアクセスし、ライセンスの登録とアクティベーションを行います。



The screenshot shows the 'Log-in to Autodesk' page. It includes a link for users without an ID, a 'Create User ID Now' button, and a login form with fields for 'User ID' (containing 'me@company.com') and 'Password'. There is a 'Remember Me' checkbox and links for 'Forgot your User ID?' and 'Forgot your Password?'. A 'Log In' button is at the bottom right.

2. 有効なユーザ ID とパスワードを入力して、Autodesk アカウントにログインします。
3. まだ Autodesk ユーザアカウントがない場合は、アカウントを作成してください。[今すぐユーザ ID を作成] をクリックします。



[日本のユーザで既にコンタクト ID をお持ちの方は、ここをクリックしてください。] はクリックしないようにしてください。この登録方法は現在使用されていません。

4. 登録する製品のアカウントを選択します。[次へ] をクリックします。
5. [製品の登録とアクティベーション] ページで、次の選択を行います。
 - 製品のオペレーティングシステムを選択します。
 - 製品のシリアル番号を入力します。

6. ネットワークサーバ情報を入力します。
 - ネットワークサーバタイプ (**シングルサーバ、冗長型サーバ、または分散型サーバ**) を選択します。
 - お使いのサーバのホスト名 (コンピュータ名) を入力します。サーバ名を調べるには、コマンドプロンプトで次のように入力します。

```
c:\Program Files\Autodesk Network License Manager> lmutil lmhostid
-hostname
```

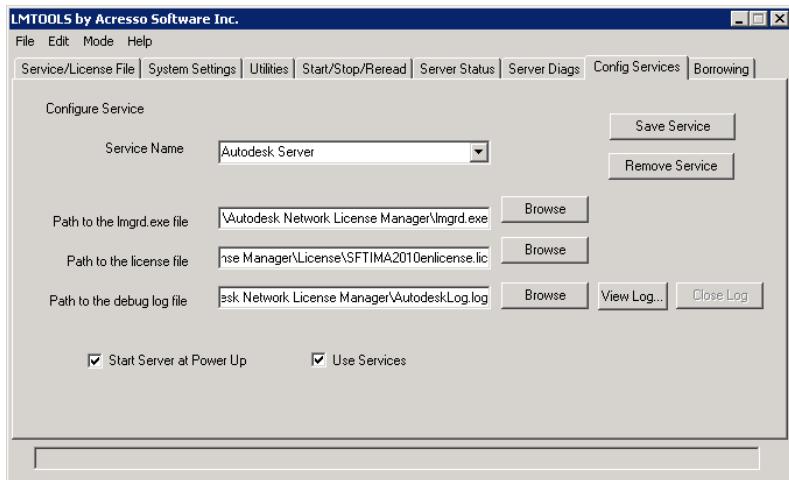
- サーバ ID を入力します。サーバ ID を調べるには、コマンドプロンプトで次のように入力します。

```
c:\Program Files\Autodesk Network License Manager> lmutil lmhostid
```

7. [次へ] をクリックします。
8. **[受信したライセンス]** ウィンドウが表示されたら、ライセンスファイルを保存することができます。[Save License File] をクリックします。
9. ライセンスファイルを保存する場所を指定します。
C:\Program Files\Autodesk Network License Manager\License を推奨します。
10. [保存] をクリックし、ダウンロードが完了するまで待ちます。[閉じる] をクリックします。
11. ログオフし、ブラウザを閉じます。

ライセンスサーバの設定

1. [スタート] > [プログラム] > [Autodesk] > [Network License Manager] > [LMTTOOLS Utility] を選択します。
2. **[Service/License File]** タブをクリックして、次のいずれかの操作を実行します。
 - “[**Configuration Using Services**]” を選択します。
3. **[Config Services]** タブをクリックします。



- **サーバ名** : ライセンスを管理するサービスを選択します。お使いのコンピュータで FLEXnet (R) を使用して Autodesk 製品と他社のソフトウェアを管理している場合は、名前が混乱しないように新しいサービス名を作成することができます。たとえば、「Autodesk Server」という名前を作成します。
- **[Path to the lmgrd.exe file]** には、Network License Manager デーモン (lmgrd.exe) のパスを入力します。デフォルトパスは C:\Program Files\Autodesk Network License Manager です。
- **[Path to the License File]** には、ライセンスファイルのパスを入力します。
- **[Path to the Debug Log File]** には、デバッグログを作成するパスを入力します。これを C:\Program Files\Autodesk Network License Manager に保存します。ログファイルの拡張子には必ず .log を使用してください。
- **[Use Services]** を選択します。
- **[Start Server at Power Up]** を選択します。

- **[Save Service]** をクリックして、新しい設定を保存します。
4. **[Start/Stop/Reread]** タブをクリックして、次のいずれかの操作を実行します。
 - **[Start Server]** をクリックすると、ライセンスサーバが起動します。
 - **[ReRead License File]** をクリックすると、Network License Manager が更新され、ライセンスファイルの変更が反映されます。
 5. ライセンスサーバが起動し、ライセンス要求に応答できる準備ができました。LMTools を終了します。
 6. ネットワークライセンスバージョンの Softimage をまだインストールしていない場合は、8 ページの「ネットワークライセンスバージョンの Softimage のインストール」を参照してください。

サイト展開

Softimage を多くのコンピュータにインストールする必要がある場合は、サイト展開を使用して処理を簡素化することができます。Softimage **展開ウィザード**で**セットアッププログラムの管理イメージ**を作成し (設定済みの適切なオプションが使用される)、それをクライアントコンピュータで実行するとソフトウェアがインストールされます。

展開するサーバイメージは、次のインストールタイプのいずれかを使用して作成できます。

スタンドアロンインストール (スタンドアロンオプション) : 1つのシリアル番号とプロダクトキーが、1つのシートに使用されます。製品ライセンスの管理には Network License Manager を使用しませんが、インストール、登録、およびアクティベーションはワークステーションごとに行われます。

マルチシートスタンドアロンインストール (スタンドアロンオプション) : 1つのシリアル番号とプロダクトキーが、複数のシートに使用されます。製品ライセンスの管理には Network License Manager を使用しませんが、Softimage 展開ウィザードを使用すれば登録とアクティベーションをより自動化できます。マルチシートスタンドアロンのシリアル番号とプロダクトキーを使用して初めてアクティベーションを行った後、この展開に基づいてすべてのワークステーションに対してアクティベーションが自動的に行われます (ワークステーションがインターネットに接続されている場合)。

ネットワークライセンスインストール (ネットワークオプション) : このタイプのインストールでは、プログラムに Network License Manager との通信を許可するためのファイルおよびレジストリエントリを使用して、ワークステーションにプログラムをインストールします。また、ライセンスがアクセス可能になるように、Network License Manager の設定も定義します。ネットワークインストールに基づいてプログラムを実行するワークステーションは、個別にアクティベーションを行う必要がありません。このプログラムのライセンスは少なくとも1つのライセンスサーバで管理されます。

主な利点は、購入したライセンス数より多くのシステム上に Softimage をインストールできることです（たとえば、25 個のライセンスを購入し、40 台のワークステーションにインストールできます）。Softimage は常に、ライセンスを所有しているシステムの最大台数で実行されます。つまり、これは本来のフローティングライセンスです。

展開の作成

展開用のインストール設定を選択するときは、画面の指示に従ってください。また、各インストール画面の左にある情報パネルの注意事項も確認してください。詳細については、8 ページの「ネットワークライセンスバージョンの Softimage のインストール」または 5 ページの「Softimage のスタンドアロンライセンスのインストール」も参照してください。

1. ネットワーク共有を作成します。

展開ウィザードが管理イメージを作成する場所は、ユーザがプログラムにアクセスしてインストールできるように、ネットワーク上の共有の場所でなければなりません。

2. Softimage セットアッププログラムを実行します。
3. **[Create Deployments (展開の作成)]** をクリックします。
4. 管理イメージ用にネットワーク上の共有の場所を指定します。
5. 展開に名前を付けます。
6. この展開を 32 ビットまたは 64 ビットにするかを指定します。
7. エンドユーザ使用許諾契約に同意します。
8. シリアル番号とプロダクトキーをお手元に準備します。
9. 一般的な展開の設定：展開ログ、クライアントログ、サイレントモードを有効にする
10. 設定を再確認し、**[設定]** をクリックして変更を加えます。たとえば、インストールタイプの選択をスタンドアロンではなくネットワークに変更したり、サテライト分散レンダリングサービスの設定が必要になる場合もあります。

11. 展開の一部としてインストールするスクリプトなど、追加ファイルを指定することもできます。
12. 設定が終わったら、**[設定の完了]** をクリックします。その後、**[Create Deployment (展開の作成)]** をクリックします。

ネットワーク上に管理イメージが作成されたら、次の操作を実行できます。

- ・ ネットワーク上の共有の場所にある **Tools** フォルダに作成される **[Create & modify a deployment (展開の作成と変更)]** ショートカットリンクをクリックし、新しい展開を作成したり、既存の展開を変更したりすることができます。
- ・ Softimage の展開を開始できます。たとえば、「si_deploy」という名前で展開を作成した場合は、si_deploy.ini という名前の構成設定ファイルが作成されます。ネットワーク上の共有の場所に作成される si_deploy.lnk ショートカットをクリックすると、クライアントワークステーションで Softimage のインストールを開始できます。

Softimage のアンインストール

Softimage ソフトウェアのインストール後は、セットアッププログラムを実行して、一部またはすべての Softimage のコンポーネントを追加または削除することができます。セットアッププログラムは、Softimage のインストール後に起動するといつでも自動的にメンテナンスモードになります。

すべてのコンポーネントを削除する場合は、個人用のファイルや Softimage ユーザ設定ファイルをあらかじめバックアップしておいてください。



Softimage をアンインストールしても、スタンドアロンライセンスはお使いのコンピュータに引き続き保存されます。このライセンスは、同じコンピュータに Softimage を再インストールするときに有効となるため、ソフトウェアのアクティベーションを繰り返す必要はありません。

Softimage をアンインストールするには

- ・ Windows の [プログラムの追加と削除] を実行し、インストールされているすべてのコンポーネントを削除します。

